

受付番号	37		
許可番号	大歯医倫 第 110958 号		
研究課題名	静脈内鎮静法および全身麻酔法における高感度マノメトリーによる咽頭内圧変動の解析		
研究責任者	加藤 裕彦	申請者	平田 裕也
研究終了日	2019 年 3 月 31 日		
所属	歯科麻酔学講座	所属	歯学研究科 歯科麻酔学専攻
職名	講師	職名	大学院 2 年生

申請の概要

静脈内鎮静法や全身麻酔法では、麻酔薬、鎮静薬の種類、投与量により呼吸中枢の抑制や上気道の筋活動自体が低下する可能性があり、気道反射の抑制あるいは消失により舌根沈下による気道閉塞や誤嚥の危険性が高くなる。しかし、全身麻酔導入時に行われる頭部後屈・下顎挙上法、頸部回旋による気道確保時の咽頭内圧変化や静脈内鎮静法に使用される薬剤による意識レベルと咽頭内圧の変動を詳細に分析した報告はない。今回、本学附属病院にて治療中の患者 10 名を主な対象として、咽頭内圧を 4 箇所測定可能な高感度マノメトリーを用いて、患者の頭部の位置を変化させ、咽頭内圧変動を詳細に解析することで静脈内鎮静時の意識レベルと上気道反射抑制との関係、全身麻酔導入後の気道確保の際の咽頭内圧変化を測定、解析することで上気道合併症の発生のメカニズムを探ることを目的とする。

本研究によって上気道合併症の発生のメカニズムが明らかになれば、麻酔薬の使用による誤嚥や気道閉塞のリスクを緩和することができるものと期待される。